

第 2 6 回 全日本漁港建設協会セミナー

能登半島地震災害からの早期復興を応援しよう！

講 師 (講演順)

南谷 良枝	南谷良枝商店（輪島朝市） 代表取締役
藤原 孝浩	石川県農林水産部 次長兼水産課長
高原 裕一	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 水産施設災害対策室長
阿部 幸樹	(株)アルファ水工コンサルタンツ 専務執行役員兼盛岡事務所長（元 岩手県農林水産部技監）

日 時 ・ 場 所

令和 7 年 1 1 月 2 5 日（火） 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0

『T K P ガーデンシティ PREMIUM 金沢駅西口』ホール 2 C

〒920-0031 石川県金沢市広岡 2 丁目 1 3 - 3 3 J R 金沢駅西第三 NK ビル 2 階

(TEL : 052-990-2651)

※オンライン配信による受講もできます。

参 加 費 : 無 料

ご 案 内

（一社）全日本漁港建設協会では、かねてより学識者の講演と意見交換により、現下、漁港建設業を取り巻く厳しい状況の打開と将来に希望の持てる建設業の在り方を考えるためのセミナーを実施して参りました。

昨年元日に発生した石川県能登半島地震においては、最大震度 7 の強烈な地震動に加え、これまでに経験のない地盤の隆起、津波、更には、火災などにより、地域の住民生活やインフラ、経済活動に大きな被害が発生しました。現在、これら大災害から復興にむけて様々な取り組みが実施されていますが、今回は、これらの中から特に水産関連の活動や取り組みに焦点をあて「能登半島地震災害からの早期復興を応援しよう！」をテーマに開催することとしました。

まずは、地域経済復興の代表的な取り組みとして、地震後の大火事で壊滅的な被害を受けた輪島朝市の復興に向けた取り組みと思いなどについて南谷良枝商店の南谷店長からご紹介いただきます。次に、これまで、経験のない地盤の隆起等により被災した漁港や漁村、水産業等の復旧・復興に向け、行政の最前線で様々な取り組みにご尽力されている石川県農林水産部の藤原次長兼水産課長並びに水産庁の高原水産施設災害対策室長から講演いただきます。最後に、現地では被災漁港の復旧工事が始まりつつありますが、既に、工事発注に不調が出始めるなど円滑な施工確保が厳しくなりつつあることから、東日本大震災時に講じた対応例について元岩手県技監の阿部さんから話題提供いただきます。

大勢のご参加をいただき、能登半島地震からの早期復興に向けた気力を奮い起こしていただきますとともに、これからの日本、また、地域建設業の在り方などについても考えを深めていただければ幸いです。

（一社）全日本漁港建設協会 会 長 岡 貞 行

○南谷 良枝（みなみだに よしえ）



南谷良枝商店 店長、有限会社鶴竹 代表取締役

昭和 50 年石川県生まれ。

平成 5 年、高校在学中に「南谷良枝商店」を創業。能登の海産物を加工し輪島朝市で販売する他、インターネットを利用した情報発信や通信販売を展開し、地域の魅力を全国に伝えている。

能登半島地震後の令和 7 年 6 月には、金沢市金石地区に「南谷良枝商店金沢支店」を開店し、能登産の海産加工物などの販売や情報発信を通じて、能登の復興に向けて取り組んでいる。

メディア出演

テレビ朝日『食彩の王国』、TBS『王様のブランチ』、テレビ金沢『となりのテレ金ちゃん』等

○藤原 孝浩（ふじわら たかひろ）



石川県 農林水産部 次長兼水産課長

昭和 59 年 10 月 京都府生まれ

平成 23 年 3 月 東京大学大学院農学生命科学研究科 修了

平成 23 年 4 月 農林水産省水産庁 入庁

平成 31 年 4 月 水産庁資源管理部管理調整課 課長補佐

令和 5 年 4 月 石川県農林水産部 水産課長

令和 7 年 4 月 石川県農林水産部 次長兼水産課長

現在に至る

○高原 裕一（たかはら ゆういち）



水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 水産施設災害対策室長

昭和 45 年 6 月 愛知県生まれ

平成 8 年 4 月 農林水産省水産庁 入庁

平成 15 年 7 月 水産庁計画課 計画官

平成 16 年 4 月 国土交通省北海道開発局釧路港湾事務所 工事課長

令和 3 年 4 月 長崎県水産部 参事監

令和 5 年 4 月 水産庁計画課 総括課長補佐

令和 6 年 4 月 水産庁防災漁村課 水産施設災害対策室長

現在に至る

○阿部 幸樹（あべ こうき）



**株式会社アルファ水工コンサルタンツ 専務執行役員兼盛岡事務所長
（元 岩手県農林水産部 技監）**

昭和 37 年 1 月 岩手県生まれ

昭和 61 年 4 月 岩手県庁 入庁

平成 27 年 4 月 岩手県農林水産部漁港漁村課 漁港課長

平成 29 年 4 月 岩手県農林水産部漁港漁村課 総括課長

平成 31 年 4 月 岩手県農林水産部 漁港担当技監

令和 2 年 3 月 北海道大学大学院工学院博士課程 修了

令和 3 年 4 月 岩手県農林水産部 技監

令和 5 年 3 月 岩手県庁 退職

令和 5 年 4 月 株式会社アルファ水工コンサルタンツ 技術顧問

令和 5 年 10 月 株式会社アルファ水工コンサルタンツ 専務執行役員兼盛岡事務所長

現在に至る

プログラム 及び 申し込み要領

■スケジュール／プログラム

日時 令和7年11月25日（火）

13:30	受付開始
14:00	開 会
～14:10	主催者挨拶 (一社)全日本漁港建設協会 会長 岡 貞行
	【第1部：基調講演】
14:10	講演1「輪島朝市の再開に向けて（仮題）」
～14:50	南谷良枝商店 店長 南谷 良枝
14:50	(休憩)
～15:00	
	【第2部：漁港災害復旧の円滑な施工確保に向けて】
15:00	講演2「石川県の水産業及び漁港の復旧・復興に向けた取組」
～15:30	石川県農林水産部 次長兼水産課長 藤原 孝浩
15:30	講演3「水産庁における復旧・復興に向けた支援・取組について」
～15:50	水産庁漁港漁場整備部防災漁村課 水産施設災害対策室長 高原 裕一
15:50	(休憩)
～16:00	
16:00	講演4「東日本大震災時における発注者としての経験」
～16:30	株式会社アルファ水工コンサルタンツ 専務執行役員兼盛岡事務所長 阿部 幸樹
16:30	閉 会

■申し込み要領

1. 参加費 : 無料
2. 申込み方法: 別添申込書に必要事項を記入し、本部事務局（下記問い合わせ先）または各支部事務局まで、FAX またはメールにてお申し込み下さい。
3. 申込締切日: 令和7年11月14日（金）
4. 募集人数: 100名（現地参加人数）
5. 問い合わせ先: 一般社団法人全日本漁港建設協会 本部事務局
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-25-10 JR 八丁堀ビル 5 階
TEL: 03-6661-1155 FAX: 03-6661-1166
Mail: info@zengyoken.jp（担当: 國武・田原）

<会場のご案内>

T K P ガーデンシティ PREMIUM 金沢駅西口



<交通のご案内>

- ①JR 北陸本線「金沢駅」金沢港口（西口） 徒歩 5 分
- ②IR いしかわ鉄道線「金沢駅」金沢港口（西口） 徒歩 5 分
- ③北陸鉄道浅野川線「北鉄金沢駅」 徒歩 6 分

※提携駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。